

人文評論研究会ワークショップ

植民地期台湾知識人の中国活動

식민지 시기 대만 지식인의 중국활동

崔末順(チェ・マルスン 최말순)

(国立政治大学 台湾文学研究所 副教授)



(日時) 2016年7月16日(土) 16:30—18:00 (進行は韓国語)

(場所) 武蔵大学教授研究棟 2階・02E会議室

(問合せ) 武蔵大学人文学部・渡辺直紀研究室 wata2002@hotmail.com



崔末順(チェ・マルスン 최말순 / 台湾・国立政治大学台湾文学研究所副教授) 専攻は台湾文学、日本植民地期小説、韓国現代文学。釜山大学卒業。台湾国立政治大学で博士号取得。主要論著として、〈「重建台湾、建設新中国」之路：戦後初期刊物中「文化」和「交流」的意義〉2015、〈韓國文學與左翼傾向〉2015、〈外來美學、抑或在地現實？—台韓文學史對現代主義文學的評價問題〉2014、《海島與半島：日據臺韓文學比較》聯經出版社，2013、〈日據時期台湾左翼刊物的朝鮮報導—以《台湾大眾時報》和《新台湾大眾時報》為觀察對象〉2012、〈1930년대 대만문학 맥락 속의 장혁주〉《사이間 SAI》No.11, 2011, 「대만의 근대문학 1-3」 소명출판사, 2013 監修, 「대만문학과 한국문학 사이에서-최말순 교수와의 인터뷰」 박영재, 『상호학보』 No.38, 2013 など。

〔主催〕人文評論研究会・科学研究費助成事業(基盤研究(C))「日本語創作を通して見た東アジア3国文学の関連様相」(課題番号 16K02605 代表者:波田野節子)